

# HK Foreign Direct Investment

## 第1回香港フィンテックウィーク

香港投資推進局は、11月7日～11日にかけて第1回香港フィンテックウィーク(Hong Kong FinTech Week)を開催し、アジアのフィンテックハブとしての香港にスポットライトを当てます。当ウィークでは、世界におけるフィンテックの最新技術やサービスがどのように香港独自の優位性を活用できるかを余すところなく実証します。

香港は世界の主要なフィンテックハブの1つとして急速な発展を遂げています。市内に70を超える銀行があり、金融サービスの知見を持つ20万人以上のプロフェッショナルを含む豊富な人材に恵まれ、世界クラスの情報・通信インフラが整備された香港は、世界的なフィンテックハブになるための条件をすべて備えています。

「第1回香港フィンテックウィークは、香港のフィンテック業界にとって、新たな旅の始まりを宣言するものです。香港のフィンテック業界は、政府や金融当局のサポートを受けながら民間企業の大きな推進力により、今後数年間で急成長が期待されます」と、香港投資推進局 局長代理 Charles Ngは述べています。

当ウィークには香港の金融当局関係者も参加します。11月7日(月)に証券先物委員会(SFC)、11月11日(金)に香港金融管理局のそれぞれが主催する終日イベントが開催されます。また、両イベントの他には「香港フィンテックウィーク」を包括的なテーマに掲げ、フィノベジア(Finnovasia)、フィノベート(Finovate)、香港フィンテック・コミュニティ(The Hong Kong Fintech Community)、フィンテック・イノベーション・ラボ(Fintech Innovation Lab)ならびにFintech O2O(NexChange)の各々が主催するイベントが開催されます。

上記のイベントはすべて中環(Central)にあるPMQ(Police Married Quarters)で開催されますが、Finnovasiaのワークショップは中環のEaton House、フィンテック・イノベーション・ラボはCyberport、アジア国際金融法研究所(Asian Institute of International Financial Law)主催の規制をテーマにした昼食イベントは香港大学がそれぞれ会場となります。

当ウィークの目玉は、何といても香港初開催となるFinovateでしょう。多数の応募の中、厳密な審査を勝抜いた30社以上の企業が、デモンストレーション会場でプレゼンテーションを行います。大手企業やスタートアップ企業が、各社がアジア市場向けに開発したアジア発の最新イノベーションを紹介・初披露します。これらのイノベーションは、バイオメトリクスやビッグデータをはじめ、投資管理や融資、カスタマーオンボーディング、決済に関わる最新テクノロジーに至るまで、多種多様なフィンテックをカバーします。カンファレンスでは、基本的にセールスデモや記者発表会、アナリストへのブリーフィング、展示会、事業開発ミーティングが纏めて実施されます。

その他のハイライト:

- Finnovasia - 中国におけるフィンテックの未来  
中国はこの先どうなるのでしょうか。また、中国の動向は世界にどのような影響を及ぼすのでし

ようか。当カンファレンスでは、規制やP2Pレンディング、クレジット市場、資産管理など、フィンテックをめぐる中国の状況を深く掘り下げます。

- **Fin Tech Community Day**  
この終日カンファレンスでは、エコシステムの成功要因(人材、資本、政策、需要)を評価し、アジアのフィンテック業界を取り巻く環境のほか、さまざまな地域やエコシステムにみられる相違点と類似点、香港にとっての機会を検証します。
- **エコシステムの現状**  
今日、フィンテックのプロフェッショナルとはどのような存在なのでしょう。フィンテックで起業を目指す人やフィンテック業界へのキャリア転向を考えている人たちを対象に、「Fintech O2O:エコシステムの現状」では、資金調達からカスタマーアウトリーチに至るまで、フィンテックを支える「柱」について検証します。
- **規制当局の最新動向**  
香港金融管理局(HKMA)や証券先物委員会(SFC)をはじめとする規制当局が、レグテック(Regtech)や決済テクノロジー、ブロックチェーンなどに関する最新情報を提供します。
- **ソーシャルネットワーク**  
当ウィークの開催期間中はネットワーキングおよびソーシャルイベントを数多く開催し、地域のフィンテックコミュニティにおいて多種多様な分野で活躍する人たちの交流を図ります。

### フィンテックウィークの波及効果 - 支援事業のご案内

2016年初頭、HKMAとSFC、保険業管理局(OCI)は、金融当局とフィンテックコミュニティ間のコミュニケーションを強化するとともに、革新的な金融商品やサービスに対する市場の需要とリスクに対する投資家の理解・許容力の適正なバランスを図る目的で、フィンテック専用のプラットフォームを立ち上げました。

2016年4月、Cyberportはフィンテック専用のコワーキングスペースの第1フェーズ「Smart-Space FinTech 1」を開設しました。年内には、約3,000平方メートルまでにスペースを拡大する予定です。また、Cyberportは同社のフィンテック専門インキュベーションプログラム(第1期)で支援するスタートアップ企業を選定し、今後5年間で150社のフィンテック企業にサポートを提供する予定です。

香港投資推進局は、世界中の革新的なフィンテック企業とスタートアップ起業家、投資家、アクセラレーター、インキュベーター、イノベーションラボ、研究開発機関を香港に誘致し、現地法人や事務所の設立を支援する目的で、フィンテック専門チームを編成しました。

連絡先:

Charles d'Haussy

フィンテック部 部長

Tel: (852) 3107 1016

Email: cdhaussy@investhk.gov.hk



[www.hongkong-fintech.hk](http://www.hongkong-fintech.hk)



@HongKongFinTech, hashtag #HKFinTechWeek



香港特別行政区政府

InvestHK 投資推進局

## 国際イベント・スケジュール

11月7～11日、香港

香港フィンテックウィーク（詳細は、P1～2をご参照ください。）

11月15日、香港

**Inside Retail Academy Seminar 一次のリテール革命**

オーストラリアでの Inside Retail Academy Seminar の成功を受け、Inside Retail はこの度、小売に特化したセミナーを香港で開催します。11月15日、経験豊富な一流のリテラーと業界のエキスパートが一堂に会し、常に变化する香港のリテール環境で生き残る方法を一緒に探ります。この終日セミナーでは、忍び寄るデジタルとフィジカルの衝突によりリテール業界に巻き起こる次の革命について討論します。

主催: *Inside Retail Asia*

[insideretail.hk/event/retails-next-revolution/](http://insideretail.hk/event/retails-next-revolution/)

11月20～27日、香港

**Hong Kong Maritime Industry Week (HKMIW)**

一週間のキックオフイベントとして、香港海運港口局 (HKMPB) が香港海員工会 (HKSU) と提携し、2016年11月20日(日)に the Hong Kong Maritime Industry Week Orienteering Race 2016 を開催します。この半日イベントには、海運・港湾業の関係者および一般の参加者とボランティア約300名が集まる見通しです。このレースでは、参加者が Kai Tak Runway Park をスタートし、臨海部にある海運をテーマにしたさまざまなチェックポイントをめぐります。ネットワーキングとチームビルディングには最適な機会でしょう。入賞者には素敵な賞品が贈られます。皆さまもエネルギーで楽しさいっぱいのイベントにぜひご参加ください。

主催: *HKMPB*

[hksuyvg.wixsite.com/mysite](http://hksuyvg.wixsite.com/mysite)

11月28日～12月3日、香港

**ビジネス オブ デザイン ウィーク (BODW)**

BODWは、デザイン、イノベーション、ブランドに関する主要イベントであり、2002年以来毎年開催されてきました。世界的に傑出したデザイナーや業界で大きな影響力を持つ人をスピーカーに招き、クリエイティブ思考とデザインマネジメントについて、地元参加者と活発に情報や意見交換を行います。

場所: *Hong Kong Convention and Exhibition Centre*

主催: *香港デザインセンター*

[bodw.com](http://bodw.com)

11月30日、香港

**日系企業交流レセプション**

香港に対する日本企業の貢献に感謝するための交流会です。

主催: *香港投資推進局(インベスト香港)*

12月1～3日、香港

**World SME Expo (世界中小企業展)**

世界中小企業展は、香港および海外の中小企業のためのワンストッププラットフォームです。この展示会に参加することで、参加企業は自社のサービスを来場者に紹介し、協力企業を探ることができます。

主催: *香港貿易發展局*

[hktdc.com/fair/worldsmeexpo-en/HKTDC-World-SME-Expo.html](http://hktdc.com/fair/worldsmeexpo-en/HKTDC-World-SME-Expo.html)



12月7日、香港

### インベスト香港 年次レセプション

この交流会には、インベスト香港のお客様、支援団体、在港の各国領事館、商工会議所をご招待します。

主催：インベスト香港

#### ■ インベスト香港主催行事

詳細については、[www1.investhk.gov.hk/events](http://www1.investhk.gov.hk/events) をご覧ください。

特集: 起業実体調査

## 世界をリードするスタートアップハブであり続ける香港

### 香港で起業する人が急増

この度、香港投資推進局は 2016 年度起業実体調査の結果を発表しました。同調査によると、海外から香港に進出して各種テクノロジー産業に従事し、市内のコワーキングスペースやインキュベーション施設で事業を運営する起業家は 1,926 名となり、前年比で 24%増加しています。

同調査結果は、11月1日にスタートアップ企業の関係者を集めて香港投資推進局が主催したスタートミーアップ香港フェスティバル開催発表会で公表されました。スタートミーアップ香港フェスティバルは 2017 年 1 月 13～21 日に開催される予定です。

同調査は、コワーキングスペースやインキュベーションプログラムを運営する 38 の事業者と共同で実施され、市内 48 施設における利用者の概要が紹介されました。香港のスタートアップコミュニティーに対する理解を深め、イノベーションと起業の重要拠点として香港をアピールすることを目的としています。

香港には「情報」、「コンピューターおよびテクノロジー」、「E コマース」、「サプライチェーンマネジメントおよびロジスティクステクノロジー」、「専門サービス」、「コンサルティング」、「デザイン」、「フィンテック」など多種多様な事業に従事する起業家が在住しています。そのうちフィンテック起業家は、「財務ソフトウェアおよびサービス」、「アルゴリズムトレーディングおよびアルゴリズムを利用したポートフォリオ管理」、「決済」、「資産管理」、「融資およびクラウドファンディング」、「サイバーセキュリティおよび不正防止」、「通貨、送金および外国為替」、「暗号通貨およびブロックチェーン」、「保険」など、多種多様な分野で活躍しています。

コワーキングスペースの数も 40 から 48 へと 20%増加しています。起業家の出身地については 65%が香港の地元出身者及び海外や中国本土から帰還した香港人で、その他は米国、英国、中国本土、フランスが上位 4 カ国を占めています。

Startmeup.HK のウェブサイトが新しく生まれ変わりました。下記の URL にアクセスしてください。

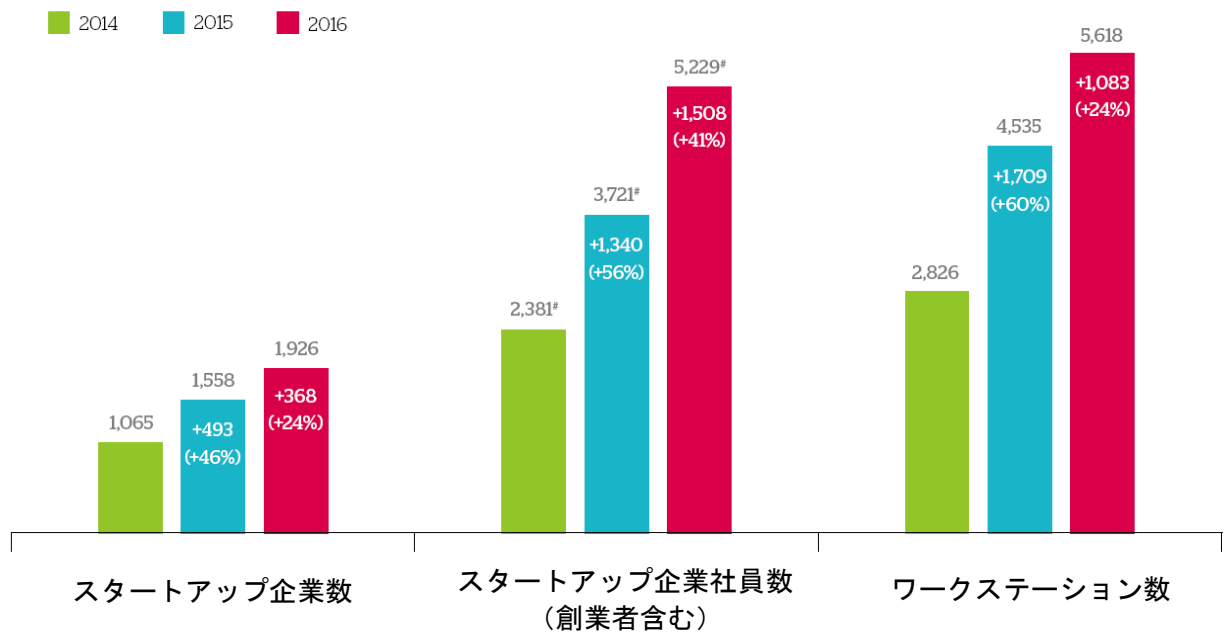
[www.startmeup.hk](http://www.startmeup.hk)



香港特別行政区政府

InvestHK 投資推進局

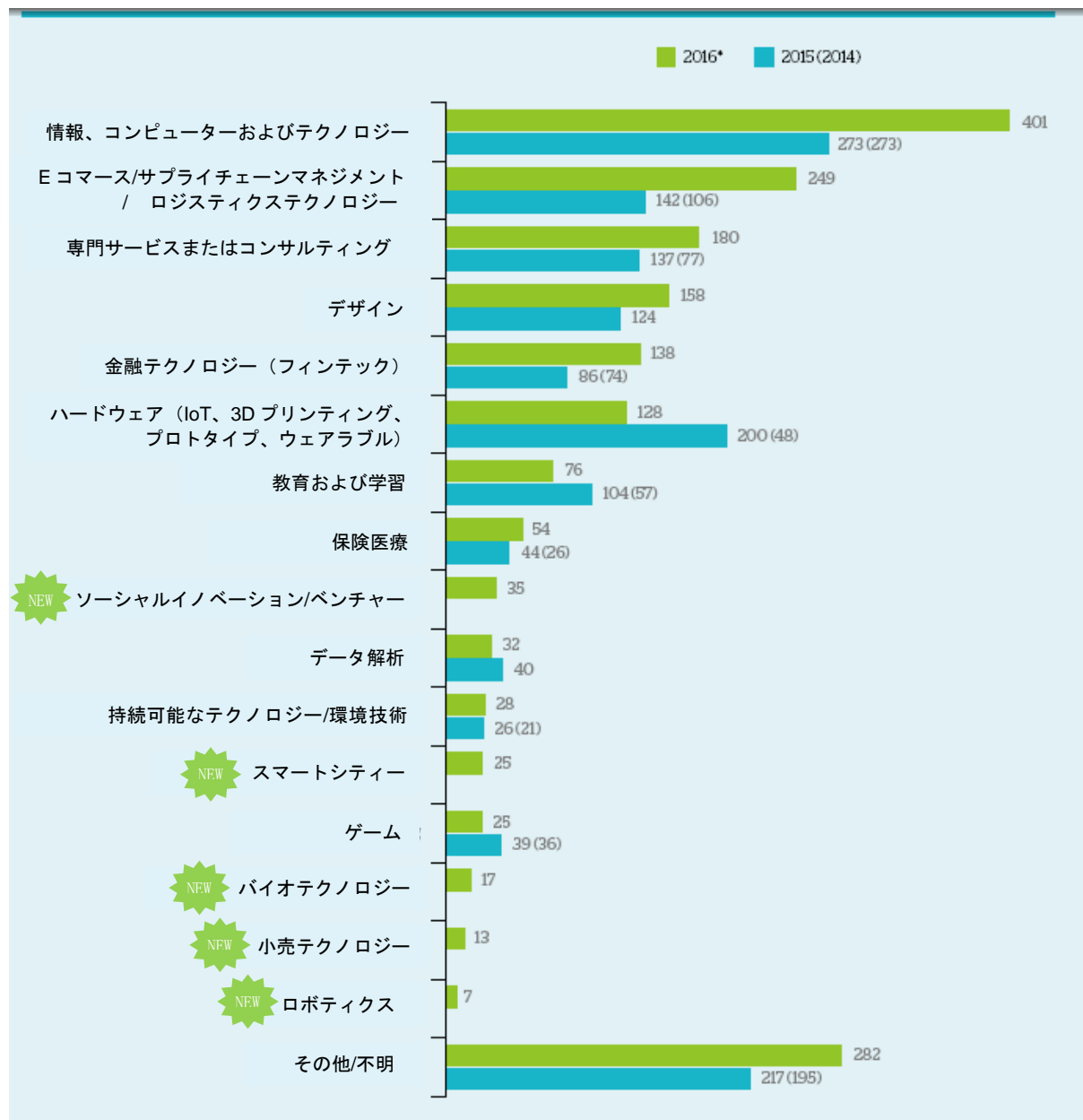
## 香港スタートアップエコシステム概要



<sup>#</sup> 質問に対し、得られた回答をベースとし、比較集計（2014年度、2015年度および2016年度に回答したコワークスペースやインキュベーションプログラム運営事業者数はそれぞれ23社、27社および37社）



## 業種分布

**注記：**

2016年の調査では「Eコマース」と「サプライチェーンマネジメント/ロジスティクステクノロジー」を別のカテゴリーとしたが、本資料では年度で比較するためにデータを統合。

\* 複数の業種に従事するスタートアップ企業により複数回答を含む。

2014年度のデータがある場合は括弧内に表示。





特集:SKYCITY

## 空港当局がスカイシティ計画を発表 - 新しい観光名所として期待を集める巨大総合開発プロジェクト

香港空港当局(AA)は、香港国際空港(HKIA)を拡張し、21世紀の主要空港に求められる新しいコンセプト「空港都市」に進化させるための戦略を打ち出し、HKIAから徒歩すぐの場所に大規模な総合開発プロジェクト「スカイシティ」の建設を計画しています

香港独自の新しい観光名所を創造し、国際的な航空ハブとしてのHKIAのポジションをさらに強化するというビジョンを掲げるスカイシティには、空港島北部にある約25ヘクタールの敷地に複合小売施設や娯楽施設、ダイニングスペース、ホテル、オフィスタワーが建設される予定です。

スカイシティにかかる期待の大きさについて、AAの会長 Jack So氏は次のように述べています。「我々の目標は、ショッピングモールの既成概念をくつがえす新しい観光名所を創造することです。空港に隣接するスカイシティは、観光とビジネスの分野で幅広い商機をとらえると同時に、香港の住民と来訪者の双方にダイナミックなライフスタイルとファミリーエンターテインメントの拠点を提供することを目的としています」。

海外の旅客と地元住民あわせて年間7000万人が利用するHKIAに隣接するスカイシティは、立地条件にも恵まれています。第3滑走路の完成に伴い、2030年には空港を利用する年間旅客数が1億人を超えると予想され、スカイシティの潜在的な顧客ベースは大きく安定したものになると期待されています。また、屯門至赤鱗角連接路(Tuen Mun-Chek Lap Kok Link)と港珠澳大橋(Hong Kong-Zhuhai-Macao Bridge)といった戦略的な連絡路の建設により、香港市内だけでなく、珠江デルタ地域全体の相互接続性が向上すれば、スカイシティの潜在的な可能性が最大限に発揮されるでしょう。

スカイシティは、複数の開発会社との提携により、段階的に開発が行われます。プロジェクトの第1段階として、2021年をめどに面積195,000平方メートルのリテール・ダイニング・エンターテインメント(RDE)施設、2020年をめどに客室数450~750のホテルがそれぞれ完成する見通しです。ホテルとRDE施設の入札公告は、それぞれ2016年11月と2017年初旬に公示される予定です。

お問い合わせ先:

Kenneth Wong

Acting General Manager, Property Development

Tel: (852) 2183 3562

Fax: (852) 2511 6330

Email: [kenneth.wong@hkairport.com](mailto:kenneth.wong@hkairport.com)

ウェブサイト: [www.hongkongairport.com](http://www.hongkongairport.com) (Future Development Section)



香港特別行政区政府

InvestHK 投資推進局

## 進出事例

“アシックスグループにとって香港が  
ブランド構築の戦略的拠点であることには変わりありません。”

ASICS China Trading Co, Ltd  
Managing Director, Greater China  
Hilda Chan 氏

## 「Want It More」さらなる高みを目指すアシックス

日本を象徴する高機能スポーツ用品メーカー、アシックス(創業 1949 年)は、香港に成長の機会を見出し、現地での事業を拡大する計画です。

アシックス香港は 1996 年に設立され、輸入販売代理店を通じて香港市場に参入しました。以来、アシックスは現地企業と提携し、取り扱い製品の幅を広げるために、自社ブランド専門店を展開し、ターゲット顧客層のブランド認知度を向上してきました。現在、香港にはアシックスブランドで 3 店舗、自社のライフスタイルブランド「オニツカタイガー」で 6 店舗を展開しています。

「香港では、特にランニングの分野で、自社ブランドに対する消費者の高い認知度と信頼を獲得しています」と、ASICS China Trading Co, Ltd. で大中華圏を統括するマネージングディレクターの Hilda Chan 氏は述べています。

「また、数年前より 10 キロマラソンを開催しているほか、今年、香港で当社初のランニングクラブを設立し、消費者向けに定期的にランニング教室を開催しています。将来的な目標は、さまざまな層のお客様が参加できるようなマーケティング活動を増やし、小売ビジネスに特化した新しい香港チームのサポートを受けて大中華圏地域全体でさらに多くのイベントを開催することです。」と、同氏は付け加えました。アシックスは、香港とマカオの主要エリアに展開する自社ブランド専門店をさらに増やす計画です。

「香港のスポーツ・トレーニング文化は成熟しつつあり、消費者の購買力も安定しています。調査データによれば、スポーツウェアとスポーツをモチーフにしたファッションの香港市場は 2015 年に急成長を遂げています。上昇傾向は今後も続くと予想されます。」

中国本土における同社の事業はここ数年で二倍に成長しており、今後も平均 30%の成長が見込まれていますが、香港がブランド構築の戦略的拠点であることには変わりありません。

また、金融の中心地としての香港の強みも中長期的な経営計画の助けになると、彼女は述べています。

アシックスは現在、香港の事業所を拡大しており、ロジスティクスや財務、人事、マーケティング、マーチャンダイジングなど、各種部門の設置準備を進めています。新しいチームはアシックスと現地の顧客の関係をより緊密にし、香港のパートナー企業へのサポートをあらゆる面で強化します。





---

「プロ意識の高い香港の人は急速に変化する環境で仕事をするのに慣れていますが、香港で事業を展開していることはわが社の大きな強みとなり、長期的に見れば、それが大中華圏で活躍することのできる人的資源を生み出すことにつながると信じています。香港で事業を拡大しながら、さらに部門を新設する計画もあります」。

アシックスは世界各地50以上の国と地域に拠点を置き、150カ国以上で事業を展開しています。2015年には年間売上高 4,000 億円を達成し、そのうち 76%を海外で獲得しています。

### アシックス香港

---

- アシックス香港は 1996 年に設立され、輸入販売代理店を通じて香港市場に参入しました
- 香港にはアシックスブランドで 3 店舗、自社のライフスタイルブランド「オニツカタイガー」で 6 店舗を展開しています

---

[asics.com.hk](http://asics.com.hk)

